



「福祉有償運送」の登録更新手続き

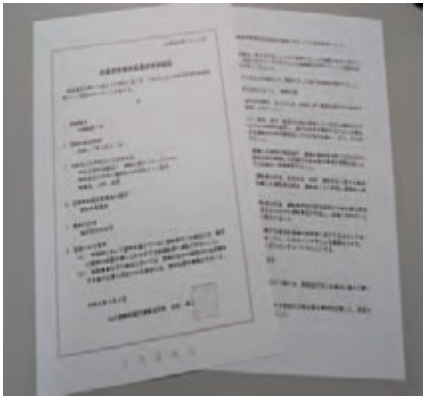
無事に終了しました

『気持ち新たに...』

北九州市の「福祉有償運送」の実施団体は、道路運送法に基づいて、三年に一度、登録の更新申請の手続きを九州運輸局福岡運輸支局と北九州市に行なうことになっていきます。

「さわやか」は、今年の三月三十一日付で、「福祉有償運送」の登録の期限が切れるため、更新の準備を進めていました。

ボランティアの皆様には、「運転者就任承諾書」や運転免許の写し、それに運転免許が過去二年以内において停止されていないことを宣誓する「宣誓書」の提出をお願いしておりました。ボランティアの皆様から更新申請に必要なすべての書類をいただきました。



運転協力者の要件

過去二年以内に何らかの違反等で免許停止処分を受けた方は「福祉有償運送」運転協力者になることが出来ません。

そして、以前からいただいております車の車検証及び任意保険証の写しや「福祉有償運送に係る自家用自動車の使用に関する契約書」の写しなども一緒に提出しました。

二月四日（水）に開催された北九州市福祉有償運送運営協議会において協議がなされました。その後、協議が整い、福岡運輸支局へ運営協議会と

五月といえば何を連想しますか？

五月は、春が過ぎ去り、さわやかな風が吹く季節。木々が青々と芽吹き、街も公園も一気に緑に包まれます。気温も上がってきて、暑すぎず寒すぎず、外に出かけたくなる季節でもあります。全国的に、平均気温は一



同じ書類を提出しました。

新しい「自家用有償旅客運送者登録証」が九州運輸局福岡運輸支局から送られてきました。

ボランティアの皆様には、この登録証の写しをお送りし、運転者証と一緒に送迎

北九州市障害者小規模共同作業所

ヒアリング終了しました

四月十五日（火）北九州市役所本庁舎七階七十二会議室で、午前九時より小倉事業所、午前十時三十分より八幡事業所の北九州市障害者小規模共同作業所のヒアリングが行なわれました。

このヒアリングは、障害者小規模共同作業所補助金等の令和七年度実績報告書及び令和八年度交付申請書

を提出するものです。

令和五年三月以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判

中の車の中においていただくこととなります。

平成十八年の登録以来、今回で六回目の登録更新の申請を行いました。が無事に更新が終えることができ、事務局一同安堵しております。

今回の有効期限は令和十一年三月三十一日までとなっております。

ボランティアの皆様のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。

なっ

る時

期な

ので

帽子

やサ

ング

ラス

、日



焼け止

めなど

でUV

対策も

忘れ

ずに

しま



ヒアリングの様子

断が基本となりましたが、新型コロナウイルスの感染症の予防対策として換気をしながら行ないました。

担当は、令和八年度から変わられた保健福祉局障害福祉部障害福祉企画課の辻本障害者就労支援係長と川久保主任がヒアリングを行ないました。

令和七年度実績報告書つ

いては、

元帳や全

ての領収

証、出勤

簿などを丁

寧に確認

をして

いただき

ました。

令和八

年度交

付申請

書につ



いて、事業計画書や予算書等を確認していただき

ました。両事業所とも多少の訂正がありましたが、無事にヒアリングは終了しました。



Dr. 江頭眞紀子氏による

とっておきのお話し

好評につき「とっておきのお話し」を公益財団法人健和会 健和会京町病院の医師であり、「さわやか」の名誉顧問でもある江頭眞紀子先生に執筆していただきましたのでご紹介します。

えだまめとくろまめ

公益財団法人健和会 健和会京町病院

医師 江頭 眞紀子

NHKの朝の「ニッポンの里山」。有名な丹波の黒豆の収穫風景を見ました。衝撃だったのは、「黒豆も大豆だったのかあ」

もちろん普通の大豆とは少しちがう、熟するとアントシアニンという色素を生じる品種だとのことですが。六甲おろしの寒風にさらして、葉や枝が枯れてもなお収穫せず、さやごと真っ黒になるまで乾かすのだそうです。

デイケアで激論がまき起こったことがあります。

「枝豆が大豆なんてうそでしょー！」と言いはったのは看護婦さん。利用者さん



たちからいつせいに声がありました。

「なん言いよるね、枝豆は大豆よ」

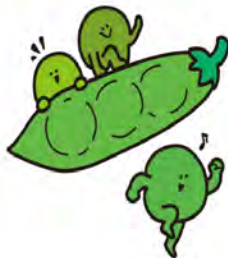
「そんなことも知らんのあんな」

「枝豆が豆まきの豆とおなじ

世界赤十字デーとは

赤十字は赤十字の創始者アンリ・デュナンの誕生日にちなんで、五月八日を「世界赤十字デー」と定めていることを皆さんはご存じでしょうか。

一九五八年六月、実業家デュナンは、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノの悲惨な状況を目撃し、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない」という信念のもと、町の人々と協力して放置されていた負傷者の救護にあたり



大豆なんて信じられない」

看護婦さん、家に帰って高校生の息子さんにインターネットの記事を見せられてしぶしぶ承服したそうです。するとボランティアさんの一人が大豆の煮ものを作ってくれました。きざんだ昆布やニンジンをもせて炊いた大豆の煮もの。

ました。

その経験から著書「ソルフェリーの思い出」を執筆し、戦争犠牲者の悲惨な状況を語り伝えるとともに、救護団体や国際的な取り決めの必要性を訴えました。この訴えはヨーロッパ各国に大きな反響を呼び、一八六四年にはジュネーブ条約（赤十字条約）が調印され、赤十字が誕生し、一五〇年以上が経った現在でも赤十字は世界中で日々活動が続けています。



ああこれ、小学校の給食でよく出たなあ。なつかしい味でした。子供の時はあまり好きじゃなかったけど。独特の臭みがあるのです。

そう、この臭みがあるのが西洋人は大豆を食べないのです。大豆は家畜のエサなのです。もったいない話です。大豆は良質のたんぱく質を含む食材なのですから。

日本人はさまざまな食品に加工して大豆を食べます。豆腐、豆乳、味噌、きなこ、納豆。まあ納豆は別の臭みがありますけどね。それに大豆モヤシ。

日露戦争の旅順攻囲戦。日本軍は大変な苦難の末に辛うじて勝利しましたが、開城してみるとロシア軍の兵士たちもヨレヨレでした。食糧はまだ欠乏していませんでしたが、新鮮な野菜が欠乏し、壊血病が蔓延していたのです。ところがうまやには、馬の飼料の大豆の袋が山積みになっていました。日本軍の軍医さんは思いました。「これをモヤシにすればよかったのに！」

ロシア人はモヤシを知らなかったのです。大豆に含まれるイソフラ

ボンという物質が健康にいいというので、サプリメントとしてしきりに宣伝されています。骨粗鬆症や動脈硬化をふせぐ効果があるとか。しかしその効果についてははっきりした証拠がないのです。効果があるという臨床試験の結果もあるのですが、それは大豆を食べない西洋人を対象におこなわれたもの。日ごろ大豆食品をよく食べている日本人はイソフラボンをサブリとして摂取する必要はないと、国の食品安全委員会が言っています。イソフラボンは代謝されてエストロゲン（女性ホルモン）類似の物質になります。過剰に摂取するとホルモンバランスを乱すおそれがあるのです。大豆食品として摂取する分には、一日納豆五パック以上という大量でなければ問題ないそうです。

ちなみに西部劇の野営の場面、「また豆かよ」とカウボーイたちがぶつぶつ言いながら、へしゃげたブリキの皿で食べる豆料理。あれは赤いインゲン豆のチリソース味の煮もので、メキシコから伝わったテキサスのソウルフードなのだそうです。